

PMXC-05A Windows制御ソフト

取扱説明書

(Ver.1.00/2010.06.10)



APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES

ツジ電子株式会社

本 社 / 〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739

TEL.029-832-3031(代) FAX.029-832-2662

URL <http://www.tsujicon.jp>

E-mail info2@tsuji-denshi.co.jp

目次

概要	1
1. インストール	1
2. 動作の概要	1
1) LANによる接続	
2) RS232Cによる接続	
3. 制御画面(画面1)による制御	2
4. CONDITION画面(画面2)によるデータ読出し・変更・書込み	4

パルスモータコントローラPMXC-05Aシリーズ

Windows制御ソフト (PM4C - 06)

取扱説明書

概要

PMXC-05Aシリーズ(PMCD-05A,PM2C-05A,PM3C-05A,PM4C-05A 以降、PMXC-05A)はRS232C、LAN(Ethernet 1)、GP-IB通信による外部制御機器(PC等)からのリモート制御機能を備えたコントローラです。

本ソフトウェアを利用するとWindowsパソコンからRS232CまたはLANを通してPMXC-05Aを簡単に制御することができます。離れた場所からパネル操作をする感覚でコントローラをご利用いただけます。

1. LANコネクタが搭載されていない装置もあります。その場合、LANアダプタ(T2429-01)がご利用いただけます。

1. インストール

ダウンロードしたファイルは自動解凍型のファイルになっていますので、適当なフォルダ内に解凍します。

Application Files、PM4C-06.application、setup.exeの1つのフォルダと2つのファイルに解凍されます。setup.exeをダブルクリックするとインストールが始まります。

あとは指示に従ってインストールしてください。

(WindowsXPをお使いの方は、ログイン名が日本語になっている場合うまくいかないことがあるようです。このときは半角英数字のログイン名でログインしてからインストールしてみてください。)

2. 動作の概要

ソフトをスタートすると画面1(制御画面)が現れます。 1

パソコンとPMXC-05AシリーズがRS232CまたはLANでハード的に接続されているものとします。

1) LANによる接続

)画面1のInterfaceフレーム(18)内のオプションをLAN側にします。

)IP Address(0XC)(24)で接続するPMXC-05AのIPアドレスを入力または、選択します。

)Port No.(20)及び、Port No.(0XC)(23)を入力します。通常は7777ですが、必要に応じて変更してください。

)CONNECTボタン(17)で接続されます。

正常に接続されると、CONNECTボタン(17)の表示が、DISCONNECTとなり、ボタンの色が赤色に点灯します。また、Farmwear Version(25)にPMXC-05Aのバージョンが表示されます。

接続中は、常時PMXC-05Aの情報を読み込み、現在位置などの情報を表示します。

2) RS232Cによる接続

)画面1のInterfaceフレーム(18)内のオプションをRS-232C側にします。

)Baud Rate(26)で通信速度を選択します。

)COM Port(27)で通信ポートを選択します。

)CONNECTボタン(17)で接続されます。

正常に接続されると、CONNECTボタン(17)の表示が、DISCONNECTとなり、ボタンの色が赤色に点灯します。また、Farmwear Version(25)にPMXC-05Aのバージョンが表示されます。

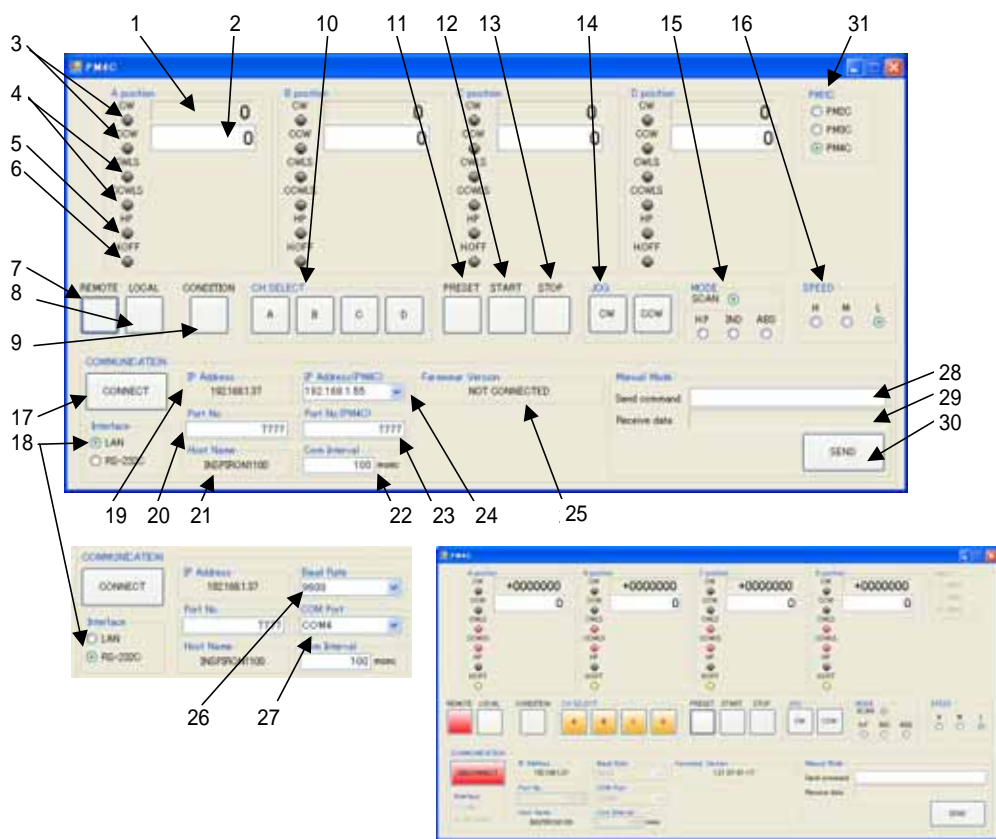
接続中は、常時PMXC-05Aの情報を読み込み、現在位置などの情報を表示します。

1. 詳細は、3. 制御画面による制御を参照ください。

3. 制御画面(画面1)による制御

画面1(制御画面)

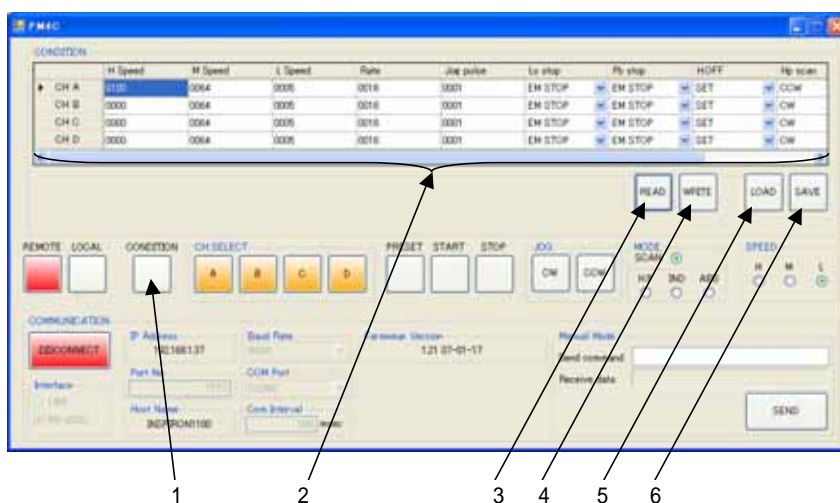
各動作の詳細に関しては、本体のマニュアルを参照ください。



- 1 各チャンネルの現在位置(パルスカウンタ)を表示します。
- 2 IND/ABS(15)及び、PRESET(11)で使用するデータを入力します。
MODE(15)を切り替えると、各MODEで入力したデータを表示します。
- 3 各チャンネルがパルス出力中のときに、出力方向が緑色に点灯します。
- 4 各チャンネルのリミットスイッチがアクティブになったときに、赤色に点灯します。
- 5 各チャンネルのホームポジションがアクティブになったときに、黄色に点灯します。
- 6 各チャンネルに対して、ホールドオフが出力されているときに、黄色に点灯します。
- 7 リモートモードに変更します。
リモートモードになると、ボタンが赤色に点灯します。
ソフトウェアからの動作指示や、データの変更などはリモートモードでないと行えません。
- 8 ローカルモードに変更します。
ローカルモードになると、ボタンが緑色に点灯します。
ソフトウェアからの動作指示や、データの変更は行えません。
- 9 コンディション画面を表示します。
PMXC-05Aがコンディションモードになっているときは、黄色に点灯します。
- 10 動作・停止させるチャンネルを選択します。
選択時は、オレンジ色に点灯します。
- 11 2で入力した値を、現在位置として、プリセットします。
- 12 選択したチャンネル(10)を、選択したMODE(15)で動作を開始させます。
- 13 選択したチャンネル(10)の動作を停止させます。
- 14 MODE(15)がH.P・IND・ABSのときは、選択したチャンネル(10)に対して、CWまたはCCW方向に1パルス出力します。
MODEがSCANのときは、STARTボタン(12)を押下後、CWまたはCCWを押下することで、指定方向に連続パルス出力します。
- 15 動作モードを選択します。
H.P: 原点位置まで移動します。
IND: 2で入力した値だけ移動します。(相対位置移動)
ABS: 2で入力した値まで移動します。(絶対位置移動)
SCAN: STARTボタン(12)で出力準備後、JOGボタン(14)を押下することで、連続パルス出力をします。
- 16 選択したチャンネル(10)の速度設定を行います。
- 17 PMXC-05Aと通信開始・終了を行います。
- 18 PMXC-05Aとの通信をLAN・RS232Cのどちらで行うかを選択します。
- 19 PCのIPアドレスが表示されます。
- 20 LANで通信(18)するときのPCの通信ポートを入力します。
通常7777ですが、必要に応じて変更してください。
- 21 PCのホスト名が表示されます。

- 22 PMXC-05Aと通信する周期を設定します。
- 23 LANで通信(18)するときのPMXC-05Aの通信ポートを入力します。
通常7777ですが、必要に応じて変更してください。
- 24 LANで通信(18)するときのPMXC-05AのIPアドレスを入力または、選択します。
- 25 PMXC-05Aと正常に接続されると、バージョン情報を読み込んで表示します。
- 26 RS232Cで通信(18)するときの通信速度を選択します。
PMXC-05Aの設定と同じである必要があります。
- 27 RS232Cで通信(18)するとき使用する、PCのCOMポートを選択します。
- 28 PMXC-05Aに個別に送信するコマンドを入力します。
- 29 個別に送信したコマンド(28)に対する応答が表示されます。
応答のないコマンドもあります。
- 30 入力したコマンド(28)をPMXC-05Aに送信します。
- 31 制御する機種をPM2C-05A・PM3C-05A・PM4C-05Aから選択します。
選択した機種によって、制御できるチャンネル数が変わります。

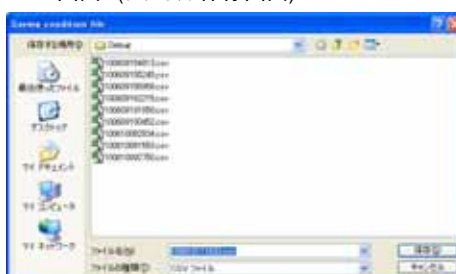
4. CONDITION画面 (画面2) によるデータ読出し・変更・書き込み
画面2 (CONDITION画面)



画面3(ファイル読み込み画面)



画面4(ファイル保存画面)



- 1 CONDITION画面/制御画面を切り替えます。
- 2 各チャンネルのデータが表示されます。
任意のデータを選択して入力を行います。
各データの詳細に関しては、本体マニュアルを参照ください。
- 3 PMXC-05Aの設定データを読み込みます。
正常に通信ができていれば、常時読み込むことができます。
- 4 2のデータをPMXC-05Aに書き込みます。
REMOTEモード以外では、書き込みはできません。また、PMXC-05Aが動作中のときは、正しく設定されません。
- 5 データを保存したファイルを読み込むための画面(画面3)が表示されます。
画面3で選択したファイルの情報を2に表示します。
- 6 2に表示されているデータをファイルに保存するための画面(画面4)が表示されます。
保存するファイル名称は、初期の状態では日付と時間をつなげたものになっていますが、任意の名称に変更して保存することもできます。また、保存先も選択できます。